



西堀小だより

【校訓】 禮儀（れいぎ） 質朴（しつぽく） 自治（じち）
 【教育目標】 やさしく かしく たくましく

夏休み号 令和8年7月17日発行
 児童数 374名
 新座市西堀 2-18-3
 TEL 042 (491) 6671
 FAX 042 (495) 8848

A I に負けない思考力

校長 鶴田 千尋

1学期が無事に終了しました。子供たちは日々の学習や学校生活を通して大きく成長しました。友達と関わりながら努力を積み重ねる姿に、頼もしさを感じています。いよいよ夏休みを迎えます。長い休みを安全で充実したものにするため、「命を大切にすること」「時間を大切にすること」を意識して過ごしてほしいと願っています。あわせて、毎日の中で「よかったこと」を一つ見つけ、自分の成長を感じられる夏休みにしてほしいと思います。ご家庭でも見守りと温かい声かけをよろしく願いいたします。2学期に元気な姿で登校できることを楽しみにしています。

* * * * *

昨今の生成A Iの進化・普及について、学校教育との関係も深まってきました。子供たちにとって学習ツールとして欠かすことのできないものとなりつつあると共に、課題もより鮮明になってきました。

フランスの哲学者R・デカルトは、その著書において、人間の本質を「自ら考えること」に見いだしました。しかし、生成A

Iを使えば、問いを入力したならば瞬時に解答が示されます。便利な反面、子供たちは調べ、比べ、悩みながら考える過程を省いてしまう危険性を内包します。文部科学省も、A Iへの過度な依存による「認知的オフロード」、つまり本来人間が担う思考をA Iに委ねてしまうことへの懸念を示しています。（OECD「Digital Education Outlook 2026」）

そのせいもあり、国によっては子供たちへのA Iの活用の規制に踏み出したところもあります。日本では、規制はせず、教育現場での情報活用能力や批判的思考力を育成する方針のもと活用を進めることとしています。（文部科学省『初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン』）

A I時代に学校が育てるべき力は、単に知識を蓄える力ではありません。A Iが示した解答そのままを鵜呑みにせず、「本当にそうなのか」と問い直す力、自ら問いを立てる力、他者と協働しながら判断する力等です。夏休みが、A Iに答えを求めるだけでなく、自分自身の頭で考える大切さを見つめ直す時間になればと願っています。

▽ 2学期当初の予定について

- 9月1日 始業式（3時間授業）
朝のコミュニケーション運動①
- 2日 3時間授業 朝のコミュニケーション運動②
- 3日 給食開始 通常日課
- 4日 避難訓練
- 7日 委員会活動

お知らせ

高学年の算数を担当しております高橋 賢二 教諭は育児休業を取ることになりました。また、休業しておりました横地 有希子 教諭が復帰し、2学期より高学年の算数を担当いたしますので御承知おきください。

▽ 林間学校が行われます

5年生は、8月3日、4日の1泊2日、長瀬町にある長瀬げんきプラザで林間学校を行います。昨年度までの榛名林間学校と異なり、県内の施設を使います。

キャンプファイヤーやライン下り、野外炊事などを行います。学校や家庭では味わうことのできない自然体験、友達との宿泊など一人一人がルールを守り、安心安全に、楽しく過ごしてください。

実施日まで、しばらく間が空きます。体調の管理、持ち物の準備などよろしくお願いします。